

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	英語Ⅲ A
科目基礎情報					
科目番号	0066		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電気電子工学科		対象学年	3	
開設期	前期		週時間数	4	
教科書/教材	Prominence English Communication II (東京書籍), Workbook, 夢をかなえる英単語 新コメタン (1) (アルク), 総合英語be 3rd Edition English Grammar 46 (いっずな書房), Alice's Adventures in Wonderland, コンパスローズ英和辞典(研究社)				
担当教員	アニス ウル・レーマン, 曾山 夏菜, 鞍掛 哲治				
到達目標					
英文を読む・書く・聞く・話すための力を伸ばす。辞書を活用して自力で英文読解や英作文や発表ができることをめざす。英語を使った学習活動を通して社会や自分のことに目を向け、考える力をつける。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		基本的な到達レベルの目安(可)
語彙	体系的に理解した語彙項目や文法項目を到達目標2～6の理想的な到達レベルの中で活用することができる。		教科書や副教材に出現する語彙や文法項目の意味や構造について体系的に理解し再生できる。		教科書や副教材に出現する語彙や文法項目の意味や構造について体系的に理解し再生できない。
聞く	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、与えられた課題や場面に對し適切な反応を行うことができる。		与えられた課題や対話などの内容や意味について理解し、その事について適切な反応を行うことができる。		与えられた課題や対話などの内容や意味について理解し、その事について適切な反応を行うことができない。
読む	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、与えられた課題や場面に對し適切な反応を行うことができる。		与えられた課題や文章などの内容や意味について理解し、その事について適切な反応を行うことができる。		与えられた課題や文章などの内容や意味について理解し、その事について適切な反応を行うことができない。
書く	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、与えられた課題や場面に對し適切な反応を口頭で行うことができる。		与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を口頭で話すことができる。		与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を口頭で話すことができない。
話す	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、与えられた課題や場面に對し適切な反応を記述で行うことができる。		与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を書く(作文する)ことができる。		与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を書く(作文する)ことができない。
発表する	到達目標1から5で培われた能力やスキルを総合的に利用し、与えられた課題や場面に對し自分の考えやまとめたことを他者に向けて発表することができる。		到達目標1から5で培われた能力やスキルを総合的に利用して、与えられた型を応用して発表したり他者とコミュニケーションをとったりすることができる。		到達目標1から6で培われた能力やスキルを総合的に利用して、与えられた型を応用して発表したり他者とコミュニケーションをとったりすることができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	後期開講の英語ⅡBと共に本校での英語学習の最初の段階で修得すべき科目として位置付けている。学修すべき内容は英語ⅡBへ引き継がれる。				
授業の進め方・方法	理解した内容や今までに学んだスキルを活かして発表や発信するための力につなげるため、授業の中において聞く・読む・話す・書くとう4つの技能を統合的に高めていくために必要な活動を行う。聞く・読む活動や文法、表現についての学習と理解を踏まえ、グループやペア、個人での調べ活動、話し合い、発表等を含んだタスクを行う。				
注意点	予習・復習を十分にを行い、語彙力・構文理解力の強化と内容理解に努めること。英語でのコミュニケーション能力向上のため授業の始は英語で行うので、授業中は英語でのコミュニケーションに努めること。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション	本科目の目標、評価、授業の進め方、自宅学習の仕方等について理解する	
		2週	Lesson 02 Part 1 / Lesson 03 Part 1	Lesson 02 Section 1 / Lesson 03 Section 1 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。	
		3週	Lesson 02 Part 2 / Lesson 03 Part 2	Lesson 02 Section 2 / Lesson 03 Section 2 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。	
		4週	Lesson 02 Part 3 / Lesson 03 Part 3	Lesson 02 Section 3 / Lesson 03 Section 3 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。	
		5週	Lesson 02 Part 4 / Lesson 03 Part 4	Lesson 02 Section 4 / Lesson 03 Section 4 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。	
		6週	Lesson 02 & 03 Comprehension & Communication Activity	Lesson 02 : 身近にある不必要な物の再利用について考え、自分の意見を書くことができる。 Lesson 03 : 田邊氏の南極大陸での発見についてキーワードを使って書くことができる。	

2ndQ	7週	Lesson 02 & 03 Grammar & Exercises	Lesson 02 : 比較級を修飾するfar / 現在完了進行形の使い方を理解し、正しく使用することができる。 Lesson 03 : S + be動詞 + C(C=whether/what等の節)の使い方を理解し、正しく使用することができる。
	8週	Lesson 02 & 03 Wrap Up	Lesson 02 & 03 で学習した項目を整理し、理解を深めることができる。
	9週	Lesson 04 Part 1 / Lesson 05 Part 1	Lesson 04 Part 1 / Lesson 05 Part 1 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。
	10週	Lesson 04 Part 2 / Lesson 05 Part 2	Lesson 04 Part 2 / Lesson 05 Part 2 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。
	11週	Lesson 04 Part 3 / Lesson 05 Part 3	Lesson 04 Part 3 / Lesson 05 Part 3 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。
	12週	Lesson 04 Part 4 / Lesson 05 Part 4	Lesson 04 Part 4 / Lesson 05 Part 4 の題材内容、言語材料、言語活動について理解し、正しく使用することができる。
	13週	Lesson 04 & 05 Comprehension & Communication Activity	Lesson 04 : 盆栽の国際化, 多様化について理解し、説明できる。 Lesson 05 : クラゲの生態と人間との関係性について理解し、説明できる。
	14週	Lesson 04 & 05 Grammar & Exercises	Lesson 04 : 倒置 / 独立分詞構文 の使い方を理解し、正しく使用することができる。 Lesson 05 : No matter + what等で始まる節 / 完了不定詞 の使い方を理解し、正しく使用することができる。
	15週	試験答案の返却・解説	試験において誤った部分を理解できる。
	16週		

評価割合				
	試験	平常点	態度	合計
総合評価割合	70	30	0	100
目標達成度	70	30	0	100